

こんにちは、知るぽると山口通信です。

新たな1年のはじまりです！皆さんも一緒に、今年1年の生活設計について考えてみませんか？

2011年度金融知識普及功績者表彰について

金融庁（担当大臣）・日本銀行（総裁）による金融知識普及功績者表彰を山口県金融広報アドバイザーの中村久枝さん（防府市在住）が受賞されました。（下記セミナーにて表彰式を行います。）

中村さんは、消費生活相談員・ファイナンシャルプランナーとしての広い視野と豊富な経験を活かし、「退職前の生活設計」などの身近なテーマを中心とした講演活動を通じて、金融知識の普及に貢献されたことが評価されました。おめでとうございます！

平成23年度イベント情報

一般向け講座・講習会

知るぽると山口塾 後期 を県内5カ所で開催しました。



	内 容	日 時	場 所	講 師
第1回	医療と介護の保険（社会保険のしくみと民間保険） ～知って納得！不安に備えるお金の使い方～	11月16日(水) 10:00～11:30	下 松 市 きらぼし館活動室	金融広報アドバイザー 上本 喜代美氏
第2回	あわてない！あせらない！老後のための資産運用 ～金融商品の選び方だけではない、上手にお金を増やすための知恵～	11月26日(土) 14:00～16:00	アクティブやない 視 聴 覚 室	金融広報アドバイザー 上津原 章氏
第3回	輝こう！未来見すえて ～暮らしと家計のアレンジは夢実現の必須アイテム～	11月30日(水) 10:00～12:00	国際ホテル宇部 ク リ ス タ ル	金融広報アドバイザー 前田 洋子氏
第4回	学ぼう！くらしとおかねの基礎知識 ～最近のおかねのトラブルを例にして～	12月 7日(水) 10:00～11:30	下 松 市 きらぼし館活動室	金融広報アドバイザー 橋本 委久子氏
第5回	おひとり様の年金、おふたり様の年金 ～年金額はいくら？夫婦・ひとり・老後の年金、万一時（遺族）の年金～	12月10日(土) 14:00～16:00	ルルサス防府 多目的ホールA	金融広報アドバイザー 中村 久枝氏

県内各地から約110名の一般の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。



教員向けセミナー

平成23年度金融・金銭教育セミナー を開催します。

現在、当委員会では 山口市立阿知須中学校、山口県立宇部商業高等学校の2校を「金融・金銭教育研究校」として委嘱しています。

当日は、研究校の担当教諭による研究発表と協議（パネルディスカッション形式）や山口県消費生活センター相談員による講義及び岐阜大学教育学部教授の 大杉 昭英 先生をお招きして、金融教育についての御講演をいただきます。

日時：平成24年2月10日（金）10：30～15：00（休憩 12：15～13：15）

場所：翠山荘2階 カトレア（山口市湯田温泉）

講師：大杉 昭英 氏（岐阜大学教育学部 教授）

山口県金融広報委員会では、中立・公正な立場から、よりいきいきとした生活設計等のお手伝いをするため、10名の金融広報アドバイザーを委嘱し、無料で派遣しています。

○対象となる団体

金融学習グループ、婦人会、老人クラブ、小・中・高・総合支援学校・PTA等、その他当委員会の活動に興味をお持ちの団体を対象とします。

○対象となる講座等

学習会、講演会、学校への出前講座（巣立ち教室など）、PTA家庭教育学級等、金融広報活動に関するあらゆる活動の場

○対象となる講座等の受講者人数

比較的少人数の講座でも可能です。御相談ください。

○講演・講座等の内容（テーマなど）

年金・税金なども含めて生活設計や金融・金銭教育、消費生活などに関する講演を行います。

○実施時間及び実施回数

1回1時間から2時間を目安としています。必要に応じてシリーズで行うこともできます。

○派遣依頼の手順 ※原則1ヶ月前までに御連絡ください。

- ①日時・場所などお決まりになりましたら、事務局までお電話ください。
その際、御希望のテーマ、アドバイザー（※1）などをお伺いします。
- ▼
- ②講師の都合などを確認し、派遣の可否を御連絡いたします。
- ▼
- ③講師が決定したら、「講師派遣依頼書」（※2）に諸事項を御記入のうえ、事務局まで御提出ください。
- ▼
- ④講師との事前打ち合わせを行ってください。（御連絡先は②でお知らせします。）
- ▼
- ⑤講座等が終了したら、「実施報告書」（※2）を御提出ください。
講座等開催翌月の16日締切です。（事務局必着）

※1 金融広報アドバイザーについては、山口県金融広報委員会のホームページで御覧になれます。

※2 講師派遣依頼書や実施報告書は、山口県金融広報委員会のホームページからも入手できます。

インターネットの環境がないので当委員会のホームページが見れない・・・。どのような話をしてもらえるの？どのアドバイザーに話してもらえるの？など御不明な点がございましたら、事務局までお気軽に御相談ください。（Tel083-933-2608）

ホームページ ➡

山口県金融広報委員会

検索



山口県金融広報委員会 委員団体・関係機関の御紹介

今回は、日本銀行下関支店からの御紹介です。



○日本銀行は何をしているところ？

日本銀行は、わが国唯一の中央銀行として、お札を発行しています。また、物価の安定と金融システムの安定に努めています。

お札(日本銀行券)の発行	お札を発行し、全国の人々に円滑に行き渡るようにするとともに、皆さんがお札を安心して使えるように努めています。
物 価 の 安 定	金融政策によって、インフレでもデフレでもない状態、すなわち物価の安定を図り、経済の健全な発展に努めています。
金融システムの安定	お金の受け払い(決済)や貸し借りの仕組みを安定(金融システムの安定)させ、経済活動に必要なお金が世の中に行き渡るように努めています。

○下関支店ではどんな仕事をしているの？

下関支店では、3つの課(総務課、発券課、業務課)に分かれて、皆さんの生活の身近なところで次のような業務を行っています。

総 務 課	①県内の景気情勢や金融機関の動向などの調査・分析 ②店内見学などの広報活動 ③建物の維持管理など支店の運営に関する業務
発 券 課	お札の発行及び円滑な流通、お金(お札や貨幣)のクリーン度維持に関する業務 (発券銀行としての業務)
業 務 課	県内の金融機関等と取引(銀行の銀行としての業務)を行っているほか、国税・年金等の各種国庫金の受払や、国債の発行償還、元利金の支払い等に関する業務(政府の銀行としての業務)

～詳細な業務内容等は、下関支店の Web サイト <http://www3.boj.or.jp/shimonoseki/> を御覧ください。

○下関支店は、いつから下関にあるの？

山口県における下関支店の歴史は、明治26年の西部支店開設にさかのぼり、当時の初代支店長は、高橋是清(後の内閣総理大臣)でした。その後西部支店は、明治31年に門司(北九州市)へ移転、県内には支店のない時期が続きました。

昭和20年8月の終戦直後から、わが国の経済が今まで経験したことのないようなインフレーションに突入し、日銀の事務量が大幅に増加していきました。日銀では業務を円滑に効率的に行うため、全国への支店網の整備を急ぎ、昭和22年12月1日に県内の金融経済の中心地である下関市に改めて支店を設置しました。

下関支店は、今年開設65周年(前身の西部支店開設からは119年目)にあたります。今後も地域に立脚した業務・サービスを提供して参りますので、引続きよろしく願いいたします。

○下関支店では、皆様に業務内容や支店の歴史などを知っていただくために、店内見学を行っています。店内見学を御希望の方は、下記へお問い合わせください。

日本銀行下関支店総務課 083-233-3141、3142

Web サイト <http://www3.boj.or.jp/shimonoseki/kengaku/kengaku.html>

BOJ Shimonoseki

全国金融広報委員会事務局長・責任者会議の御報告

標記会議が12月9日に東京都で開催されました。

会議では、金融広報中央委員会（※）からの活動状況の報告や情報交換が行われ、各関係機関の一層の連携強化が図られました。

（※）都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、中立・公正な立場から、暮らしに身近な金融に関する幅広い広報活動を行っており、事務局は日本銀行本店内にあります。

以下、会議の概要について御報告します。

1 開催目的

各都道府県金融広報委員会の事務局長・責任者に金融広報中央委員会から現時点での今年度の活動実績、評価および来年度の活動の方向性についての考えを伝達するとともに、金融広報活動の課題等についての意見交換や討議を行い、今後の金融広報活動に役立てること

2 主催

金融広報中央委員会

3 参加者（約150名）

各都道府県金融広報委員会事務局長

事務局ではない都道府県、日本銀行支店・事務所の金融広報の責任者

財務局・財務支局・財務事務所の金融広報の責任者

※本県からは、日本銀行下関支店・陰山総務課長、中国財務局山口財務事務所・竹中総務係長、山口県金融広報委員会・池本事務局員の3名が出席しました。

4 プログラム（主な内容）

○金融広報中央委員会会長挨拶

【ポイント】子どもの頃からの金融教育が必要であるが、今後は、新学習指導要領に基づく授業が多くなり、金融教育の機会が増加

○金融広報中央委員会における2011年度の活動状況と2012年度に向けた展望（説明）

【ポイント】2012年度以降の金融広報活動に向け、各都道府県金融広報委員会や金融広報中央委員会の活動への認知度上げが重要。特に、教育委員会等への働きかけを強化

○金融庁、文部科学省、消費者庁による説明

【テーマ】①金融教育・金融広報活動の推進、②連携強化に向けた取組

○参加者からの実践事例紹介（発表府県：宮城県、栃木県、福井県、京都府）

【特徴的な取組】市町からの要望を受け、有名講師による講演会を市町と共催実施（福井県）

○グループ別情報交換

【本県の主な発表内容】

金融・金銭教育は、消費者トラブルの未然防止といった観点からも大きな役割を果たしている。今後、金融・金銭教育や消費者教育を推進していく上で、特に教育委員会との連携が不可欠。来年度からの新たな取組として、公民館等への金融広報アドバイザーの派遣を検討中



編集後記

「知るぽると山口通信」、年が明けてしまいましたが、何とか第2号の作成にもこぎ着けました。

寒い日が続いていますが、皆さんお風邪など召されていませんか？今年もインフルエンザが流行る時期がやってきてしまいましたが、この流行にはのりたくないものです。（既にかかられた方は大丈夫ですか？）

ぽかぽか陽気の春が待ち遠しいですね・・・。

発行元

山口県金融広報委員会事務局

〒753-8501

山口市滝町1-1 山口県県民生活課内（TEL 083-933-2608）

ホームページ：<http://www3.boj.or.jp/shimonoseki/save.htm>

知るぽると
山口

